

文学館北側正面。長年親しまれてきた建物の外観も、建築当初の姿に復原されました。その際に、建物の建築の記録を記した「棟札」も確認されています(今号14頁「文化芸術」参照)。

栃木市立文学館

4月27日(水)開館

栃木市立文学館は、栃木県内初の公立文学館として、4月27日(水)に開館します。栃木市ゆかりの文学、市史に足跡を残した先人たち、旧栃木町役場庁舎に関する展示のほか、市ゆかりの文学・美術に関する図書の見学コーナーなどを設けています。



栃木市立文学館

開館時間 9時30分～17時
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日に振替)
祝日の翌日
(土・日・祝日の場合は開館)
年末年始(12月28日～1月3日)
展示替えのための整理期間



展示室での常設展示イメージ(※実際の展示とは異なる場合があります)

文学館の1階は、無料ゾーンとして、日立製作所創業者の小平浪平や、「ビール麦の父」とよばれる田村律之助など、市史に足跡を残した先人たちにに関する展示のほか、「旧栃木町役場庁舎」に関する展示をご覧いただけます。また、文学・美術などに関する図書の閲覧や観光情報の発信、まち歩きの際の休憩場所としてご利用いただける「とちぎサロン」を設けています。

2階には、展示室と多目的室があります。展示室では、山本有三、吉屋信子、柴田トヨの各氏を中心に、とちぎゆかりの文学に関する常設展示を行います。多目的室では、文学や郷土の歴史に関する企画展示や講座を行います。

文学館の建物は、大正10年(1921)に栃木町の役場庁舎として建てられ、平成26年まで約90年間にわたり町役場・市役所として使用されてきました。平成29年には、建築当時の公共建築の特徴が残されていることなどが評価され、市の有形文化財に指定されました。

この建物を保存・活用するため、平成31年3月から2年間にわたる改修工事を行いました。工事は、文化財として現存する資料や建物に残っていた痕跡から、可能な限り建築当初の姿に復原するとともに、公共施設として安全に利用できるよう、また博物館施設として展示・収蔵できるように配慮しながら行いました。

市役所庁舎から文学館へ。新たな役割を担うこととなった大正ロマン漂う建物と、地元ゆかりの文豪たちの作品や世界観との融合を、ぜひお楽しみください。

増改築・水廻り専門店のカラーズ!

外壁塗装&屋根工事専門店の木の花塗装!

築24年のお住まいを全面改修



地元密着 ならではの 安心品質!

迅速見積 安心保証 適正価格

地元の会社をご希望の方 初めてリフォームされる方 リフォームで失敗したくない方

お気軽にお電話下さい!

カラーズ・木の花塗装は多数の実績を誇る増改築・水廻り・塗装の専門店です。



ご相談お見積無料!

ありがとう 施工実績

8,200件突破!! (2021年12月末)

カラーズ 0120-119-895 営業時間 9:00~18:00
栃木市野中町1382-2 栃木市総合運動公園前 定休日:最終週を除く火曜日・毎週水曜日

木の花塗装 0282-27-0850 営業時間 9:00~18:00
栃木市平柳町3-31-30 定休日:最終週を除く火曜日・毎週水曜日